

日本農業気象学会2017全国大会オーガナイズドセッション

3月27日(月) / 27 March (Mon) 14:30 - 19:00

OS-A Wetlandのガスフラックス

【オーガナイザー】 平野高司(北海道大), 平田竜一(国立環境研)

14:30 - 17:00

D会場(V1号館・V1-113)

14:30		開催趣旨説明	平田竜一(国環研)
14:35	OS-A-1	インドの水田における温室効果ガスフラックスの測定	○間野正美・犬伏和之(千葉大院), 須藤重人・Aung Zaw Oo・小野圭介(農研機構農環研), 山本昭範(東京学芸大), 林田佐智子(奈良女子大), V. Ravi(タミルナドゥ稲研究所)
14:53	OS-A-2	熱帯泥炭地のオイルパームプランテーションにおけるCO <sub>2</sub> 排出量とその制限要因	○石倉 究・沖元洋介・平野高司(北海道大), 平田竜一(国環研), Wong Guan Xuan・Frankie Kiew(北海道大), Lulie Melling(TPRL), 石井吉之(北海道大)
15:11	OS-A-3	熱帯泥炭湿地林の環境変化が泥炭分解呼吸に及ぼす影響	○伊藤雅之(京都大), 沖元洋介(北海道大), Kitso Kusin(パランカラヤ大), 平野高司(北海道大)
15:29	OS-A-4	熱帯泥炭湿地林における群落スケールメタンフラックスの解明	○坂部綾香・伊藤雅之(京都大), Kushin Kitso (University of Palangkaraya), 平野高司(北海道大)
15:47	OS-A-5	北方湿原におけるメタンフラックスの連続観測とモデリング	○二口雄介・植山雅仁(大阪府大), 矢崎友嗣・平野高司(北海道大), 小南靖弘(農研機構北農研), 原園芳信(大阪府大), 五十嵐康則(名古屋大), 岩田拓記(信州大)
16:05	OS-A-6	湿原メタンフラックスの観測データを用いた陸域生態系モデルの最適化	○植山雅仁・二口雄介(大阪府大), 矢崎友嗣・平野高司(北海道大), 岩田拓記(信州大), 原園芳信(大阪府大)
16:22	OS-A-7	渦相関法による浅い中緯度湖からのメタン放出の評価	○岩田拓記(信州大), 平田竜一・高橋善幸(環境研), 伊藤雅之・飯塚浩太郎(京都大), 宮原裕一・小林大暉(信州大)
16:40		総合討論	

OS-B 農作物への放射性物質移行

【オーガナイザー】 多胡靖宏・新井竜司(環境科学技術研究所)

14:30 - 16:15

A会場(本館B棟1F・B11)

14:30		本オーガナイズドセッションについて	オーガナイザー
14:40	OS-B-1	ハツカダイコン又は牧草表面に沈着したセシウム及びヨウ素の降雨又は霧によるウェザリング	○川端一史・箭内真寿美・高久雄一・久松俊一((公財)環境研)
15:05	OS-B-2	大気排出トリチウムのイネへの移行に関する研究	谷 享・新井竜司・多胡靖宏((公財)環境研)
15:30	OS-B-3	リンゴ(ふじ)における同化炭素の果実への移行に関する研究 —炭素の果そう内分配	○守谷友紀(農研機構果樹研), 多胡靖宏・今田省吾((公財)環境研)
15:55		総合討論	

OS-C 長期・広域の食糧生産への環境・技術影響の検出・解析・予測

【オーガナイザー】 飯泉仁之直(農研機構農環研), 増富祐司(茨城大)

17:00 - 19:00

B会場(本館B棟2F・B21)

17:00		趣旨説明	飯泉仁之直(農研機構農環研)
17:03	OS-C-1	茨城県におけるコメの白未熟粒発生割合推定モデルの構築と広域推定	○滝本貴弘・増富祐司・田村誠(茨城大), 田中研一(茨城農研)
17:23	OS-C-2	近年の気候変動による北海道におけるワイン産地の確立 —1998年以降のピノ・ノワール	○広田知良(農研機構北農研), 山崎太地(山崎ワイナリー), 安井美裕(十勝ワイン), 古川準三(北海道ワイン), 丹羽勝久(ズコーシャ), 根本学・濱寿孝弘・下田星児(農研機構北農研), 菅野洋光(農研機構農環研), 西尾善太(東京農大)
17:43	OS-C-3	ダウンスケーリング基準データとしてのAPHRODITEとその改良	○谷田貝亜紀代(弘前大), 大久保さゆり(農研機構東北農研), 菅野洋光(農研機構農環研), 石田祐宣(弘前大)
18:03	OS-C-4	広域スケールで作物の成長を予測するために必要なシームレスモデル技術	○辰己賢一(東京農工大)
18:23	OS-C-5	主要穀物の栽培暦についてのグローバルデータセットの開発	○飯泉 仁之直(農研機構農環研)
18:43		総合討論	

**OS-D 野外における植物の環境応答機能の分子レベルでの解明と農業気象学の貢献**

14:30 - 17:30

【オーガナイザー】 小沢聖(明治大), 桑形恒男(農研機構農環研), 長谷川利拓(農研機構東北農研)

C会場(本館B棟3F・B31)

14:30	OS-D-1	「光合成有効放射」再考: 遠赤色光の役割	○寺島 一郎・河野 優・矢守 航(東京大), 鈴木 祥弘(神奈川大)
15:00	OS-D-2	地球温暖化・高CO <sub>2</sub> 化適応植物の開発に向けた基盤的研究	○射場 厚(九州大)
15:30	OS-D-3	植物の分子フェノロジー: 季節環境下での遺伝子発現応答の頑健性	○工藤洋(京大生態研究センター)
16:00	OS-D-4	野外トランスクリプトミクスから 分子生物学と農業気象の接点を探る	○永野惇(龍谷大)
16:30	休憩 (5分)		
16:35	OS-D-5	イネ花成の短日反応 - 気温・水温制御実験から分かる気温の作用 -	○岡田益己・吉津祐貴・武氣壮平(岩手大)・横井修司(大阪府大)
16:43	OS-D-6	野外におけるイネの根のアクアポリン発現量の環境応答	○桑形恒男(農研機構農環研), 羽田野麻理(農研機構東北農研), 石川(櫻井)淳子(農研機構作物開発センター), 林秀洋(農研機構東北農研), 松波麻耶(日本学術振興会 特別研究員), 福井真(早稲田大), 須長智洋(農研機構農環研), 永野惇(龍谷大), 中河嘉明(国立環境研)
16:51	OS-D-7	乾燥地の作物生産における葉面結露の灌水効果	○安武 大輔・北野 雅治・丸尾 恭輔・横山 岳(九州大), 森 牧人(高知大)
16:59	OS-D-8	師部輸送における浸透調節機能の発現の農業利用	○北野雅治・安武大輔(九州大), 荒木卓哉(愛媛大), 和島孝浩(旭川大)
17:07	OS-D-9	植物の環境応答機能を利用した作物生産の高度化	○小沢 聖(明治大)
17:15	総合討論		

**OS-E 温室の高度化・大規模化にかかわる課題解決**

17:00 - 19:00

【オーガナイザー】 後藤英司(千葉大)

A会場(本館B棟1F・B11)

17:00	本企画について		後藤英司(千葉大)
17:10	OS-E-1	CO <sub>2</sub> 収支法によるゼロ濃度差CO <sub>2</sub> 施用温室の光合成速度の算定	○嶋津光鑑・森大樹・干海倩・宇野真優子(岐阜大), 狩野敦((株)ダブルエム)
17:40	OS-E-2	CO <sub>2</sub> 施用速度-温室室内植物個体群純光合成速度応答曲線のリアルタイム推定法 - デジャブ・データ抽出による温室環境制御用コア情報の構築 -	○富士原和宏(東大院農)・大嶋勇樹(東大農)
18:10	OS-E-3	温室内の温熱環境および光環境のシミュレーション	○石神靖弘(千葉大)
18:40	総合討論		

日本農業気象学会2017年全国大会 口頭発表

3月28日(火) / 28 March (Tue)

A会場(本館B棟1F・B11)

座長: 紺野祥平(農研機構果樹茶部門)

9:00	J-1	気象庁全球数値予報モデルGPV(GSM日本域)を利用した全日射量分布の推定および精度検証	○佐々木華織・大野宏之・吉田ひろえ・丸山篤志(農研機構農環研)小南靖弘(農研機構北農研), 中川博視(農研機構農環研)
9:15	J-2	農研機構メッシュ農業気象データによる積雪深予報値の誤差	○小南靖弘(農研機構北農研), 大野宏之(農研機構農環研), 廣田知良・井上聡(農研機構北農研)
9:30	J-3	アンサンブルダウンスケールデータを2LMに適用したイネ葉面濡れ予測実験(2)	○菅野洋光(農研機構農環研), 山崎剛(東北大学), 大久保さゆり(農研機構東北農研), 岩崎俊樹(東北大学), 神田英司(鹿児島大学), 小林隆(山形大学), 吉田龍平(福島大学)
9:45	J-4	先行降雨指数を用いた2016年台風水害の北海道における土壌水分評価	○井上聡・廣田知良・濱寄孝弘・根本学・小南靖弘(農研機構北農研)

休憩

座長: 平田竜一(国環研)

10:15	J-5	現地気象観測にもとづいた最低気温予測-最低気温の分布の推定-	○上田悠生・三浦健志・諸泉利嗣(岡山大院)
10:30	J-6	長期GPS可降水量データを用いた高知市の大雨解析	坂出知也(高知大院), ○森牧人(高知大), 能島知宏(元高知大院), 佐々浩司(高知大)
10:45	J-7	諏訪湖における大気-湖間の熱交換と水温プロファイルのシミュレーション	○小林大曙・岩田拓記・宮原裕一・杉野元哉(信州大), Victor Stepanenko(モスクワ大)
11:00	J-8	接地気層内の一点のみの気温と風速測定に基づく顕熱フラックスの推定	○田中康資(三重大), 清澤秀樹(元三重大)

15:00	<p>学会員向けシンポジウム 「変動気候下でのイネの冷害研究の最前線」</p>		
17:30			

3月28日(火) / 28 March (Tue)

B会場(本館B棟2F・B21)

座長: 臼井靖浩(農研機構北農研)

9:00	J-9	イネ早生変異体HEv系統の形質評価	森田創哉(岩手大院), 阿部陽(岩手生物工学研), 仲條真介・太田裕貴(岩手農研), 鈴木健策・熊谷悦史(農研機構東北農研), 黒田栄喜・○下野裕之(岩手大)
9:15	J-10	アフリカイネはアジアイネよりも優れた表現型可塑性を示す	○舩谷悠祐(岩手大院), 熊谷悦史・松波麻耶(農研機構東北農研), 黒田栄喜・下野裕之(岩手大)
9:30	J-11	東北地方における近年の温暖化傾向が水稻の可能栽培期間, 生育, 収量に及ぼした影響	○長谷川利拓(農研機構東北農研), 若月ひとみ(農研機構農環研)
9:45	J-12	有色素米着色の登熟期間の気温に対する応答	○大久保さゆり・長谷川利拓・太田久稔(農研機構東北農研), 小館琢磨(岩手農研)

休憩

座長: 濱寄孝弘(農研機構北農研)

10:15	J-13	九州地方において米の外観品質に被害を及ぼすフェーンの特徴	○柴田昇平・脇山恭行・野見山綾介(農研機構九州沖縄農研)
10:30	J-14	水田水温を利用した発育モデルによる水稻出穂予測の精度向上-全国作況試験758データによる検証	○桑形恒男(農研機構農環研), 長谷川利拓(農研機構東北農研), 福井眞(早稲田大), 石郷岡康史(農研機構農環研), 近藤始彦(名古屋大)
10:45	J-15	気温とCO <sub>2</sub> 濃度の上昇が水稻乾物生産と水利用に与える影響に関する感度実験	○石郷岡康史・桑形恒男(農研機構農環研), 長谷川利拓(農研機構東北農研), 丸山篤志・小野圭介(農研機構農環研)
11:00	J-16	水稻の面的出穂期予測のWeb情報の試作	○川方俊和(農研機構東北農研)

17:30	<p>若手研究者の会 「農業気象分野における統計解析-実験計画法の理論と実践-」</p>		
19:00			

3月29日(水) / 29 March (Wed)

A会場(本館B棟1F・B11)

座長: 岩田拓記(信州大学)

9:00	J-17	凍土上のクロトウヒ植生におけるメタンフラックス、チャンバによる局所的差異	○原菌芳信・義川晃太・植山雅仁(大阪府大), 岩田拓記(信州大), 永野博彦(千葉大), 坂部綾香・小杉緑子(京大)
9:15	J-18	ガス状のギ酸と酢酸を放出する植物の探索に関する研究	○望月智貴・谷晃(静岡県立大)
9:30	J-19	ニホンカラマツリターのモノテルペン放出特性の解明に関する研究	○望月智貴・氏原萌子・谷晃(静岡県立大)
9:45	J-20	樹木の根から吸収された重水と有機物質の、葉による揮発モニタリング	○谷晃・望月智貴(静岡県立大)
10:00	J-21	微量酸素濃度制御とガス交換量自動測定システムへの組み込み	○米村正一郎・大浦紀子・岸本文紅(農研機構農環研)

休憩

座長: 井上誠(秋田県立大学)

10:30	J-22	生態系炭素収支のモデリングにおける尤度関数の検討	○横沢正幸・河合優作(静岡大), 戸田求(広島大)
10:45	J-23	反復Lidar測量による10年間の森林炭素変化量の広域評価	○高木健太郎(北海道大), 平山宏次郎・岡田啓嗣・鮫島良次(北海道大院), 三枝信子(国環研・CGER), 小熊宏之(国環研・環境計測研究センター)
11:00	J-24	2010年と2016年の夏季の異常高温と広域森林火災との関連性	○真木太一(北海道大院・九州大)

12:30	<b>総会・学会賞受賞記念講演</b>		
14:30			

14:45	<b>公開シンポジウム</b>		
17:45	<b>「気候変動と北東北農業の未来」</b>		

3月29日(水) / 29 March (Wed)

B会場(本館B棟2F・B21)

座長: 長谷川利弘(農研機構東北農研)

9:00	J-25	栽培管理への活用を目的とした寒地水稲の不稔歩合推定法	○濱崎孝弘(農研機構北農研), 三浦周(道総研上川農試), 廣田知良・井上聡・根本学(農研機構北農研)
9:15	J-26	北海道の醸造用ブドウ品種を対象とした生育予測モデルの構築	○根本学(農研機構北農研)
9:30	J-27	広域連絡試験を利用した少数データセットによるダイズ発育モデルパラメーターの推定	○中野聡史(農研機構農環研), 松尾直樹(農研機構九州沖縄農研), 熊谷悦史(農研機構東北農研)
9:45	J-28	国別作物収量の統計モデル化と階層クラスタリングによるその時系列データの分類	○深見一磨(東京大), 櫻井玄(農研機構農環研), 横沢正幸(静岡大), 岩田洋佳(東京大)
10:00	J-29	作物モデルを用いた各国の作物生産性ポテンシャルの逆推定	○櫻井玄・岡田将誌・西森基貴(農研機構農環研), 横沢正幸(静岡大学)

休憩

座長: 中野聡史(農研機構農環研)

10:30	J-30	熊本地震により亀裂や不陸が生じた水田圃場の減水特性	丸山篤志・○伊川浩樹・小林健史(農研機構農環研), 脇山恭行(農研機構九州沖縄農研), 田中誠司・榮誠三郎(熊本農研)
10:45	J-31	熊本地震の被災農地で栽培された大豆および水稲の生育調査	○野見山綾介・松尾直樹・増田欣也・脇山恭行・柴田昇平(農研機構九州沖縄農研), 榮誠三郎(熊本県), 井上敬資(農研機構農工研), 石塚直樹・岩崎亘典・坂本利弘(農研機構農環研)
11:00	J-32	人工衛星データを用いた近畿圏における広域地表面熱収支の評価	○祐安孝幸・植山雅仁・安藤智也(大阪府立大), 小杉緑子(京都大), 小南裕志(森林総研)

3月30日(木) / 30 March (Thu)

A会場(本館B棟1F・B11)

座長: 野見山綾介(農研機構九州沖縄農研)

9:00	J-33	飽差による植物影響は大気CO <sub>2</sub> 濃度および根圏水ポテンシャルによって異なる	○渋谷俊夫・加納憲治・遠藤良輔・北宅善昭(大阪府立大院)
9:15	J-34	PETISを用いたイチゴ果実への光合成産物のアンローディング動態の評価	○三好悠太(九州大院), 永尾航洋(九州大), 日高智美(九州大院), 日高功太(農研機構九州沖縄農研), 石井里美・鈴木伸郎・尹永根・栗田圭輔(量研機構RIイメージング), 安武大輔(九州大院), 河地有木(量研機構RIイメージング), 北野雅治(九州大院)
9:30	J-35	植物を用いた一過性遺伝子発現法によるワクチン生産:葉温に基づく葉内ワクチン含量が最大となる日の推定の試み	○上野彰大・松田怜・富士原和宏(東京大院)
9:45	J-36	異なる光透過特性を持つ遮光ネットがワサビの成長と辛味成分含有量に及ぼす影響	管敬・○谷晃・望月智貴(静岡県立大), 久松奨・馬場 富二夫(静岡県農試), 内田剛人・金子大介(ダイオ化成)
10:00	J-37	温室における遮光および発根促進剤処理が薬用人参の生育に及ぼす影響	○南谷健司(北海道大), 田坂恭嗣(産総研)
10:15	J-38	矩形パルス光がコスレタス葉の純光合成速度に及ぼす影響の網羅的調査	○地子智浩・富士原和宏(東京大院)

休憩

座長: 吉越恒(農研機構西日本農研)

10:45	J-39	温室ハイブリッド加温設備の消費熱量割合の推定	○町田創(青森産技), 岡田益己(岩手大)
11:00	J-40	水冷熱型農産物貯蔵庫の通気口の増設による製氷への影響	○木村賢人・酒井駿(帯畜大)
11:15	J-41	デジタルファブリケーションによる植物生産用分光ガジェットの開発	○星岳彦・上田兼大・池昂典・泰地夏美(近畿大), 瀧川義浩(近畿大先端技総研)
11:30	J-42	土壌センサーによる土壌溶液窒素濃度のICT制御	○小沢聖(明治大学), 喜多英司(㈱ルートレック・ネットワークス)

3月30日(木) / 30 March (Thu)

B会場(本館B棟2F・B21)

座長: 森牧人(高知大学)

9:00	J-43	2013年12月の北部九州での液体炭酸人工降雨実験	○真木太一(北海道大院・九州大), 西山浩司(九州大院), 守田治(福岡大), 鈴木義則(九州大), 脇水健次(九州大院)
9:15	J-44	赤外線サーモグラフィ移動観測による茶畑の温度分布測定と霜害対策への応用	○林宏典(日本気象協会), 伊原泰之(中日本高速道路(株)), 富田賢治・松川宗夫・西村勝利(日本気象協会)
9:30	J-45	農作物の霜害に対する構造物等の影響に関する数値シミュレーションを用いた研究	○林宏典(日本気象協会), 伊原泰之(中日本高速道路(株)), 市川幸宏・松川宗夫・西村勝利(日本気象協会)
9:45	J-46	TDR霜センサによる霜の形態判別と発生環境	○澁谷和樹(明治大院), 登尾浩助(明治大)
10:00	J-47	多孔質セラミック板を使用した蒸発量、気温、湿球温度の測定	○黒瀬義孝(農研機構西日本農研)

休憩

座長: 熊谷悦史(農研機構東北農研)

10:30	J-48	岩手県北部のホウレンソウ農家がハウスの温度計測に求める要件は何か	○松嶋卯月・佐藤文香・庄野浩資・岡田益己・佐藤和憲(岩手大)
10:45	J-49	三陸沿岸における早どりカリフラワーの作型と収穫期の年々変動	○岡田益己・松嶋卯月・加藤一幾(岩手大)
11:00	J-50	光学的手法を用いたブドウの葉面積指数の推定	○杉浦裕義・山崎安津・東暁史・薬師寺博(農研機構果樹茶部門), 吉田貴寿(福井県園研セ, 現:福井県自然環境課)
11:15	J-51	UAVと地上観測を組み合わせた醸造用ブドウ圃場の生育環境診断の試み	○飯島慈裕(三重大), 根本学(農研機構北農研), 齋藤仁(関東学院大)
11:30	J-52	草生栽培リンゴ園の二酸化炭素収支に及ぼす草刈りの影響	○伊藤大雄(弘前大), 石田祐宣(弘前大院)

## ISAM2017 Oral session program

28 March (tue)

Room C(3F/B31)

Chairperson: Toshihiro Hasegawa (NARO TARC)

10:30	E-13	Effects of water ponding on lowering daytime leaf and panicle temperature of rice	OHiroki Oue, Taigo Tokuda, Lian Liu (Ehime Univ.) and Yanyan Wang (Jiangxi Agri. Univ.)
10:45	E-14	Uptake of salt within the plant body and chlorophyll fluorescence in three cultivars of rice under salt water irrigation	OHiroki Oue, Yuki Kitahara, Mahjuba Akter and Salma Sadia (Ehime Univ.)

29 March (wed)

Room C(3F/B31)

Chairperson: Ryo Matsuda (University of Tokyo)

9:00	E-1	Field investigation of the differences in the freezing tolerance of the tea plant ( <i>Camellia sinensis</i> L. var Yabukita) at different locations in a tea garden, western Japan	Ryutaro Isshiki (Okayama Univ.), OMakito Mori, Tomohiro Nojima (Kochi Univ.), Galis Ivan (Okayama Univ.) and Daisuke Yasutake (Kyushu Univ.)
9:15	E-2	Leaf wetting can improve daytime depression in photosynthesis of a tomato plant	ODaisuke Yasutake, Gaku Yokoyama, Masaharu Kitano, Kensuke Kimura (Kyushu Univ.) and Makito Mori (Kochi Univ.)
9:30	E-3	Spatiotemporal optimization of environmental control for plant production I. Continuous and multipoint evaluation of leaf surface convection	OMasaharu Kitano, Kensuke Kimura and Daisuke Yasutake (Kyushu Univ.)
9:45	E-4	Spatiotemporal optimization of environmental control for plant production II. Distribution of leaf surface convection in a greenhouse	OKensuke Kimura, Daisuke Yasutake (Kyushu Univ.), Atsushi Yamanami (Kumamoto Pref. Agri. Res.Center) and Masaharu Kitano (Kyushu Univ.)
10:00	E-5	Effects of nutrient solution temperature on the main medicinal compounds and anthocyanin concentration in Red Perilla	OEriko Ogawa, Shoko Hikosaka and Eiji Goto (Chiba Univ.)

Tea break

Chairperson: Toshichika Iizumi (NARO NIAES)

10:30	E-6	Soybean responses to environmental factors in Tohoku region analyzed with growth model	OSaori Kanaba, Ryoji Sameshima, Keiji Okada (Hokkaido Univ.)
10:45	E-7	Application of a livestock weight model to the 2009_2010 winter disaster in Mongolia	OKaoru Tachiiri (JAMSTEC), Masato Shinoda (JIRCAS), Yuki Morinaga (Meiji Univ.) and Hiroshi Komiyama (Nagoya Univ.)
11:00	E-8	Different climate change response of rice production and market price	OMuhammad Almaududi Pulungan (Shizuoka Univ.), Tatsuji Koizumi (PRIMAFF), Gen Sakurai (NARO NIAES) and Masayuki Yokozawa (Shizuoka Univ.)

30 March (thu)

Room C(3F/B31)

Chairperson: Hiroyuki Shimono (Iwate University)

9:00	E-9	Modelling the effects of post-anthesis heat stress on seed-setting rate in rice	OTing Sun, Yan Zhu (Nanjing Agri. Univ.) and Toshihiro Hasegawa (NARO TARC)
9:15	E-10	Changes of canopy micrometeorology by FACE and T-FACE and their effects on rice	OMayumi Yoshimoto (NARO NIAES), Kazuhiro Ujiiie (Shimane Univ.), Guoyou Zhang, Hidemitsu Sakai (NARO NIAES), Toshihiro Hasegawa (NARO TARC) and Hirofumi Nakamura (Taiyokeiki Co. Ltd.)
9:30	E-11	Temperature response of yield and grain quality of rice obtained with a novel open-field warming of air around rice panicles	OToshihiro Hasegawa (NARO TARC), Minehiko Fukuoka (NARO NIAES), Kazuhiro Ujiiie (Shimane Univ.), Guoyou Zhang, Hitomi Wakatsuki and Mayumi Yoshimoto (NARO NIAES)
9:45	E-12	Trade-offs between production and water use in a high-yielding rice variety under elevated CO <sub>2</sub>	OHiroki Ikawa (NARO NIAES), Charles P. Chen (Azusa Pacific Univ.), Martin Sikma (Wageningen Univ. Res.), Mayumi Yoshimoto, Hidemitsu Sakai (NARO NIAES), Hirofumi Nakamura (Taiyokeiki Co. Ltd.), Keisuke Ono, Atsushi Maruyama (NARO NIAES), Tsutomu Watanabe (Hokkaido Univ.), Tsuneo Kuwagata (NARO NIAES) and Toshihiro Hasegawa (NARO TARC)

Tea break

Chairperson: Hiroki Ikawa (NARO NIAES)

10:45	E-15	Effect of random error on wavelet coefficients for water vapor and carbon dioxide transfer efficiencies	OPimsiri Suwannapat, Daisuke Komori (Tohoku Univ.) and Wonsik Kim (NARO NIAES)
11:00	E-16	Recent potato yield alternation induced by negative correlation of spring and summer temperatures and shallow soil frost in eastern Hokkaido	OSeiji Shimoda (NARO HARC), Hiromitsu Kanno (NARO NIAES) and Tomoyoshi Hirota (NARO HARC)

## 日本農業気象学会2017全国大会 ポスター発表

3月28日(火) / 28 March (Tue) 12:45-14:45

※ 発表番号が奇数の方は12:45～13:45, 偶数の方は13:45～14:45をコアタイムとします。

ポスターB会場(本館B棟1F・B13実習室)

PJ-1	2015, 2016年の作期移動試験と現地調査から明らかになった「ゆうだい21」の品種特性	○高橋行継・高草木海人(宇都宮大), 舛水康彦(木徳神糧(株))
PJ-2	人工知能を用いたイネ育種法の開発 1.データマイニング法の検証	○塩井健一郎(岩手大), 熊谷悦史(農研機構東北農研), 黒田栄喜(岩手大), 舛谷悠祐(岩手大院), 下野裕之(岩手大)
PJ-3	世界イネコアコレクションにおける高CO <sub>2</sub> 応答の遺伝的多様性	○酒井英光(農研機構農環研), 氏家和広(島根大学), 常田岳志・張国友(農研機構農環研), 中村浩史(太陽計器(株)), 長谷川利拓(農研機構東北農研)
PJ-4	真瀬サイトにおける夏期気温の特徴と群落光合成の高温応答について	○小野圭介(農研機構農環研), 長谷川利拓(農研機構東北農研), 林健太郎・宮田明(農研機構農環研)
PJ-5	開放系大気 CO <sub>2</sub> 増加と赤外線ヒータによる加温の組み合わせ処理における水稻群落温度	吉本真由美(農研機構農環研), ○中村浩史(太陽計器(株)), 氏家和広(島根大), 張 国友・酒井英光・常田岳志(農研機構農環研), 長谷川利拓(農研機構東北農研)
PJ-6	高緯度地域稲作における保温育苗技術の普及と利用可能気候資源量の変化-中国黒竜江省の事例-	○福原弘太郎(東京大院), フランス国立社会科学高等研究院), 小林和彦(東京大院)
PJ-7	小麦発育予測モデルに用いる気温の日別値の違いが出穂日予測精度に及ぼす影響	○川北哲史・高橋英博(農研機構西日本農研)
PJ-8	北海道十勝地域における気象条件の違いが小麦の生育・生長に及ぼす影響	○臼井靖浩・廣田知良・小南靖弘・平藤雅之(農研機構北農研)
PJ-9	寒冷地における狭株間密植がダイズ品種の生育・収量に及ぼす影響	○熊谷悦史(農研機構東北農研)
PJ-10	施肥時期の違いがサトウキビ栽培における収量および硝酸態窒素溶脱に及ぼす影響およびAPSIMの適用性の検討	岡本健(琉球大), ○後藤慎吉(国際農研)
PJ-11	品種別シミュレーションに基づく冷害の予測可能性	○吉田龍平(福島大), 福井真(早稲田大), 福井真(東北大)
PJ-12	将来気候下における北東北のヤマセ日の気象特性	○真崎良光・野尻幸宏(弘前大)
PJ-13	気象条件に基づくリンゴの日焼け果リスクのシミュレーション	○真崎良光・野尻幸宏(弘前大)
PJ-14	ビワの光合成速度と光および温度の関係とその季節変化	○紺野祥平・杉浦俊彦(農研機構果樹茶部門)
PJ-15	タマネギの抽苔に関するDVRモデルについて	○細野達夫・池田順一(農研機構中央農研)
PJ-16	ピーマン個体群の層別葉面積、受光量および個葉光合成速度により形成される層別光合成量と収量の品種間差異	○鍋島怜和(高知農技セ, 九州大), 安武大輔・北野雅治(九州大)
PJ-17	異なる水分特性を持つ培地におけるキュウリ葉の気孔応答	遠藤良輔・○松山涼馬・渋谷俊夫・北宅善昭(大阪府立大院)
PJ-18	異なる光強度とCO <sub>2</sub> 濃度に順化したキュウリ葉におけるナミハダニの産卵行動	渋谷俊夫・○岩橋祐太・遠藤良輔・北宅善昭・平井規央(大阪府立大院)
PJ-19	生物神経細胞に対するネオニコチノイド系農薬の作用メカニズムの解明	中村美穂・須藤綾華・○皆川秀夫・田中勝千(北里大)
PJ-20	分子動力学シミュレーションによるアルツハイマー病の発症機構の解明	須藤綾華・中村美穂・○皆川秀夫・田中勝千(北里大)

ポスターC会場(本館B棟2F・廊下)

PJ-21	富士北麓の冷温帯アカマツ林における揮発性有機化合物濃度の日変動特性	○深山貴文・高梨聡・岡野道明・吉藤奈津子・森下智陽・宮下俊一郎(森林総研)
PJ-22	インターバルカメラを用いた遊牧家畜による生態系への影響評価	○中野智子(中央大), 飯島慈裕(三重大), 伊藤健彦(鳥取大)
PJ-23	草地更新が生態系炭素収支に及ぼす中期的な影響	○松浦庄司(農研機構農環研), 寛示戸雅之(北里大)
PJ-24	土地利用変化に伴う炭素動態: 耕作放棄後5年間の有機物配分変化と草刈管理の影響	○下田星児(農研機構北農研)
PJ-25	テンサイ作付地域における土壌飛散発生条件に関する予備的検討	○松島大(千葉工大), 根本学(農研機構北農研)
PJ-26	スペクトルサーベイメータによる土壌中放射性セシウム濃度の非破壊測定を試み	○安田幸生・大谷義一(森林総研)
PJ-27	水稻品種による安定同位体セシウムの吸収特性とカリウム、ナトリウム吸収との関係	○羽田野麻理(農研機構東北農研), 松波麻耶(農研機構東北農研, 学振特別研究員), 富永陽子(岩手大), 石川淳子(農研機構次世代作物研), 藤村恵人・戸上和樹・三浦憲蔵(農研機構東北農研), 近藤始彦(名古屋大)
PJ-28	ICTによる農業利用のための精密気象情報の配信	○植山秀紀・吉越恆(農研機構), 岡田周平((株)ビジョンテック)
PJ-29	領域気象モデルによる夏季の再現実験に対する下部境界条件の影響	○鈴木智恵子・渡辺真吾・馬燮鈔(海洋研究開発機構), 丸山篤志・清水麻美・大野宏之(農研機構農環研)
PJ-30	群落コンダクタンスの計算を基にした地表面熱収支インバランスの考察	○岩田拓記・高橋壮太(信州大), 小野圭介(農研機構農環研), 小杉緑子(京都大)
PJ-31	都市郊外の小さな凹地に発達する冷気湖とその季節変化	○上野一喜・太田俊二(早稲田大)
PJ-32	小型風洞による自然界に近い粗度長を持つ境界層の形成方法	○劉佳啓・木村玲二(鳥取大)
PJ-33	簡易型パッドアンドファン(ダクト型)設計のための一実験	○吉越恆・畔柳武司・川嶋浩樹(農研機構西日本農研)
PJ-34	春夏ニンジン栽培における換気率がトンネル内環境・生育に及ぼす影響	○原田陽子・村井恒治(徳島農総技セ), 吉越恆(農研機構西日本農研)
PJ-35	春夏ニンジン栽培における施設内環境の偏りが生育に及ぼす影響	○村井恒治・原田陽子(徳島農総技セ), 吉越恆(農研機構西日本農研), 佐藤泰三(徳島農総技セ)

各種委員会

3月28日(火) 11:15~12:45	V1号館 大会議室	編集委員会
3月28日(火) 14:00~15:00	V1号館 V1-会議室	和文誌編集委員会
3月29日(水) 11:30~12:30	V1号館 大会議室	評議員会
3月30日(木) 12:00~13:00	V1号館 大会議室	理事会



## ISAM 2017 Poster session program

28 March (Tue) 12:45 - 14:45

\* Odd-numbered presentation: 12:45 to 13:45, even-numbered presentation: 13:45 to 14:45.

Venue: Poster A (Hall, 1F/Bldg. Main-B)

PE-1	Altering light source and planting density to reduce light pollution in spinach	OKazuki Nomura, Haruhiko Yamamoto, Kiyoshi Iwaya (Yamaguchi Univ.) and Yoshimitsu Sonoyama (Agri-Light Lab.Inc.)
PE-2	Translocation of photosynthetically assimilated <sup>13</sup> C to <i>Malus domestica</i> fruits	OShogo Imada, Takashi Tani, Ryuji Arai, Yasuhiro Tako and Shun'ichi Hisamatsu (IES)
PE-3	Effect of deep water management on reducing cool summer damage of paddy rice in Hokkaido	OMakito Takahashi (Hokkaido Univ.), Atsushi Maruyama (NARO NIAES), Ryoji Sameshima (Hokkaido Univ.) and Keiji Okada (Hokkaido Univ.)
PE-4	Effect of windbreak forest on paddy environment and rice growth in Sorachi, Hokkaido	OKosuke Ishiwata, Ryoji Sameshima and Keiji Okada (Hokkaido Univ.)
PE-5	Differences of plant growth and canopy environment among sugar beet ( <i>Beta vulgaris</i> ) lines	OYasuhiro Usui, Tomoyoshi Hirota, Kazunori Taguchi and Masayuki Hirafuji (NARO HARC)
PE-6	Biogenic volatile organic compound emissions from fourteen bamboo species in Japan	OMotonori Okumura (Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture) and Yoshiko Kosugi (Kyoto Univ.)
PE-7	Post-disturbance changes in carbon balances of understory vegetation in a deciduous forest, northern Japan	OTomotsugu Yazaki (Hokkaido Univ.), Munemasa Teramoto (NIES), Takashi Hirano (Hokkaido Univ.), Naishin Liang (NIES), Lefei Sun, Itchoku Kamakura (Hokkaido Univ.)
PE-8	Carbon dioxide dynamic in a secondary tropical peat swamp forest in Sarawak, Malaysia	OFrankie Kiew (Hokkaido Univ., TPRL), Ryuichi Hirata (NIES), Takashi Hirano, Wong Guan Xhuan (Hokkaido Univ., TPRL), Edward Baran Aries, Kevin Kemudang, Joseph Wenceslaus, Lo Kim San and Lulie Melling (TPRL).
PE-9	Micrometeorological measurement of methane flux above a tropical peat swamp forest	OWong Guan Xhuan (Hokkaido Univ., TPRL), Ryuichi Hirata (NIES), Takashi Hirano (Hokkaido Univ.), Edward Baran Aeries, Kevin Kemudang Musin, Joseph Wenceslaus Waili (TPRL), Frankie Kiew (Hokkaido Univ., TPRL) and Lulie Melling (TPRL)
PE-10	Theoretical approach to evaluate the crop coefficient considering with leaf area and plant height of maize	Akiko Kitano and OJun Suzuki (Shinshu Univ.)
PE-11	Aircraft measurement for calibration of the NIES TCCON FTs and comparison of the GOSAT data	OYumi Haga, Makoto Inoue (Akita Pref. Univ.), Isamu Morino, Osamu Uchino, Toshinobu Machida and Keiichi Katsumata (NIES)
PE-12	Predicting the protein of winter wheat using hyper-spectral images	OKei Yoshikawa (Hokkaido Univ.), Takahiro Hamasaki (NARO HARC), Tomomichi Kato, Tomotsugu Yazaki, Junichi Kurihara (Hokkaido Univ.), Tomoyoshi Hirota (NARO HARC) and Takashi Hirano (Hokkaido Univ.)
PE-13	Frost detection accuracy depending on differences in thickness of TDR frost sensor	OKazuki Shibuya and Kousuke Noborio (Meiji Univ.)
PE-14	Validation and application of the monitoring method for degraded land area based on a dust erodibility in eastern Asia	OReiji Kimura (Tottori Univ.)
PE-15	Relationship between long term tendency of sand movement and degree of vegetation flourishing in natural monument Tottori sand dune	ONaru Takayama (OIT), Reiji Kimura (Tottori Univ.), Ryoji Takahashi, Tetsuro Sera (OIT) and Liu Jiaqi (Tottori Univ.)